

最優秀賞



金城 弘美(54)
石垣市字新川

うら かぎいる
貴方ぬ香色

くとうば
言葉どう残りようる

つく うむ
秘めーる想いや

まついに ぞー
睫毛ゆ濡らし

ンゾーシヌ

うも
しくしく思りそよ

【歌意・訳】

貴方の色や香り言葉はいつまでも心に残り
秘めた想いは睫毛を濡らす
染み染み思われて

優秀賞



宮城 幸子(73)
石垣市字宮良

しいま みあ
島ぬ見当ていや

まちいじう
真頂ぬムリカ星

たゆ
ばがけーらぬ頼るうや

しいま ばがむぬ
島ぬ若者よー

ンゾーシヌ

しいまむ ま たほ
島持つ生り給り

【歌意・訳】

島では昔からスバルを見当てに農耕を行ってきた
今を生きる私たちの希望は若者たちである
島を治める立派な人になってほしい

優秀賞



霜田 弓子(52)
石垣市字宮良

やどとう あまうとう
戸打つ雨音

しう うむ だ
聞かば想い出し

ひだ う や
隔め居る親

うむかぎ た
面影どう立ち

ンゾーシヌ

ながらい たほ
長寿給り

【歌意・訳】

家の戸に当たる雨の音を聞けば想い出す
離れて暮らす親の面影が偲ばれる
長生きしてください

佳作

廣田 律子(69)

神奈川県川崎市

ぐまさーるばすから

あす
むつましー遊びうだ

あつたらうとうど
愛しい弟ぬ

まーらしはりねーぬ

ンゾーシヌ

しかさぬ がまらさぬ

【歌意・訳】

幼い頃から仲良く遊んでいた
愛しい弟が亡くなってしまった
さびしくて悲しい

特別賞

真玉橋 玲皇

石垣中学校3年

さーふぬばすん

にぶるばすん

まくとうまいしやーる

びげーぬ くしいよー

ンゾーシヌ

うやぬふこーらさよー

【歌意・訳】

仕事の時も寝ているときも
ほんとうに大きな父の背中よ、親の
ありがたさよ